

(学年) 第1学年, (教科・科目)家庭・家庭基礎

協働学習

(単元) 現代の消費社会

(本時のねらい)

2022年4月には成年年齢が引き下げられるなど、変化する社会の中で、消費者の一人として生活していくためには、消費者問題の根本にある「契約」について、十分に理解する必要がある。

また、経済的自立に向けて、生涯を見通した家計管理について関心を持ち、消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任についての基礎的・基本的な知識および技術を身につけ、消費者として適切な意思決定に基づいて主体的に行動できるようにする。

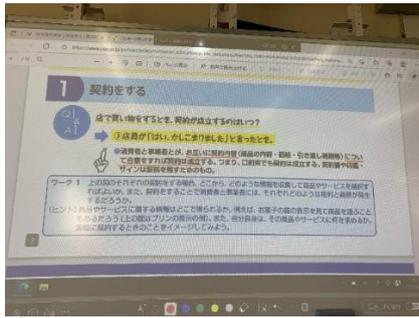
(ICT活用方法)

クイズや指示内容、グループワークでの発表内容を電子黒板に映し出し、解説を行う。
契約や消費者の権利と責任について、理解を深めさせるために学習動画を活用する。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標と活動内容を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標と活動を説明する。 	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> 契約に関するクイズに取り組み、解答を発表する。 消費者庁作成教材「社会への扉」で各クイズの解説を見る。 グループになり、消費者トラブルについて考える。 学習動画を視聴し、契約トラブルの解決策や気をつけるべき所、消費者の権利と責任について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> クイズに取り組み、その解答を発表させる。 クイズの解答を伝え、解説する。 グループをつくり、消費者トラブルについて考えさせる。 学習動画を視聴させる。 	<ul style="list-style-type: none"> クイズの問題を電子黒板に映し出す。 クイズの解答を電子黒板に映し出す。 消費者トラブルの事例を電子黒板に映し出し、解決策などの考えを発表させ、記入する。 重要である箇所は静止し理解を深めるために、グループで考えさせる。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめを聞く。 本時の振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容をまとめる。 	

(授業の様子) 教材投影方法



(生徒の反応と課題, 改善を要する点)

教員が資料を提供するだけでなく、一人一台端末を使い、必要な情報を調べさせ、板書と ICT の組み合わせを工夫することにより、学習効果のさらなる向上に努めたい。